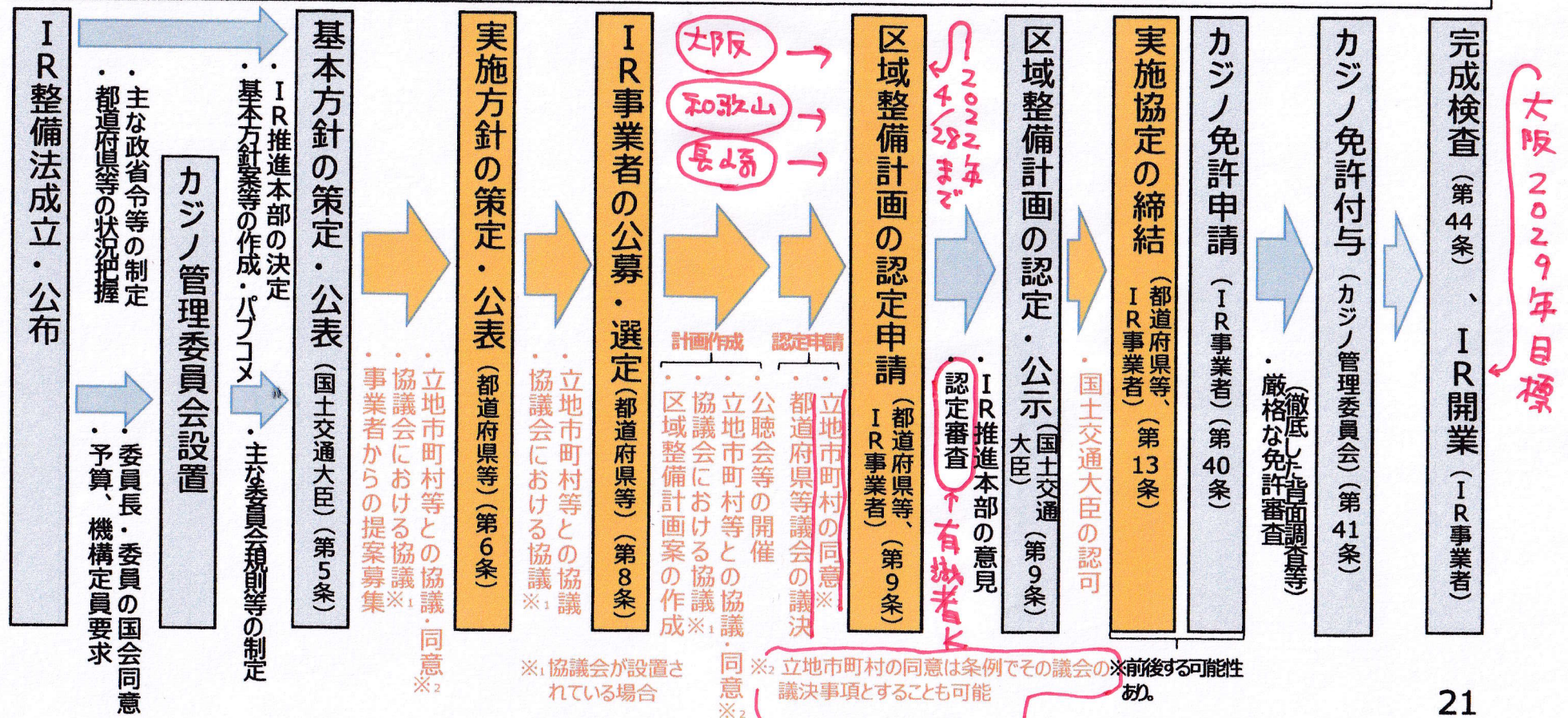


開業までのプロセス

- カジノ管理委員会の設置後、国土交通大臣は、基本方針を策定し、公表。
- 都道府県等は、実施方針を策定し I R 事業者を選定。さらに、地域における十分な合意形成を行った上で、I R 事業者と共同して区域整備計画を作成し、認定を申請。
十分な合意形成の例：協議会における協議、立地市町村等との協議・同意、公聴会の開催、認定申請についての都道府県等議会の議決、(申請主体が都道府県の場合)立地市町村の同意 等 (立地市町村の同意は条例でその議会の議決事項とすることも可能)
- 国土交通大臣は、公正かつ客観的な審査により区域整備計画を認定 (認定区域整備計画の上限数は3) 。
- カジノ管理委員会は、厳格な免許審査 (徹底した背面調査等) を行った上で、カジノ免許を付与。





持統天皇

989年

バクチはあかん!!

違法性の阻却

「日経 I R フォーラム」(2019年8月8日、大阪市)

萩生田光一・自民党幹事長代行(当時)の講演から抜粋

「今日お見えの海外の投資家や企業の方々にとって、I R 区域の認定に最初に10年間の許可を与え、5年間ごとに更新の手続きをする制度が大きなリスクになっていることは承知している」

「基本方針をつくる中で解説をきちんと入れさせる。10年たったときに、知事や市長や議会の構成が変わって『やっぱりあんたたち出て行ってくれ』といっても訴訟になる」

「10年たったときに事業をやめろということとはできないようになっている。これを次の基本計画を発表するときにご理解いただけるようにするので、みなさん安心して準備をしていただきたい」

新自由主義を転換し

やさしく

強い経済へ

「アベノ
ミクス」
大企業主
大株主
大モリサ!



自分ども
よろずさん

「新しい
資本主義」???

小泉・竹中
「構造改革」
企業のもりけ!

新自由主義

「自由」? → 人間の自由ではない、企業のもうけを最大化する自由



「新」?

◆ 昔の自由主義 = 18世紀の最初の、もうけ放題 野放しの資本主義

→ 貧富の格差拡大 ← 社会主義思想の誕生、ロシア革命

→ 20世紀は、いい「福祉国家」の時代に

→ 1990年代初頭「ソ連・東欧」崩壊 → 「資本主義勝利？」

◆ 新しい自由主義 = 企業の儲けの最大化 賃金抑制 社会保障改悪

税のフラット化 マネー資本主義 → 貧富の格差拡大

2001年～ 小泉「構造改革」(雇用破壊、社会保障の連続改悪)

2013年～ 「アベノミクス」(中心は金融政策。株高誘導 → 大企業・富裕層大儲け)

新自由主義からの転換めざす米国～若者の社会主義サークル → サンダース(民主的
社会主義者)現象 → バイデン政策へ 新自由主義との対決軸は、昔も今も社会主義思想

日本では、日本共産党が頑張るしかない！！